白石の農×育てる人

～農家の輝く姿を情報発信！～

２カ月に１回、白石のすてきな農家さんを紹介していきます！　私たちの身近にある「農業」の情報を楽しくお届けします。

今回は、地域農業の６次産業化に貢献することを目的に設立した「一般社団法人みのり」について紹介します。

問農林課　☎22-1253

一般社団法人みのりとは

平成29年５月に地域農産物を加工・販売し、６次産業化を進めるために設立しました。「みのり」という名前には、地域のみのりある食べ物を通じて地域社会を元気にしていきたい、また、みのりを通じて地域の人が育ち、故郷を好きな人がたくさんみのってほしいという２つの意味が込められています。

「みのり」には、加工施設の「みのりファクトリー」、食品検査施設の「みのりラボ」、地域食材で作った料理を提供する「みのりキッチン」の３つの施設があり、地域の６次産業化に取り組んでいます。

６次産業化の中枢施設「みのりファクトリー」

市内や近隣地域の農家が丹精込めて作った農産物を、ドレッシングやジャムなどのオリジナルブランド商品に加工し販売しています。オリジナル商品は、斬新で高品質な６次化商品になるようこだわって作っています。また、製造工程に手作業を加えることで素材本来の味を引き出し、安全・安心に提供することを大切にしています。オリジナル商品は、みのりキッチンやおもしろいし市場、県内道の駅などでも販売しています。

そのほか、農家から相談を受け、商品化に向けた試作なども有料で行っています。規格外品などを活用し加工することは、農産物の効率的な消費と農家所得向上につながっています。

農産物で地域のにぎわいづくりに貢献

しろいしSun Park（こじゅうろうキッズランド・おもしろいし市場・みのりキッチン）では、３つの施設が連携して、地元農産物を使用した食育イベントを行っています。子どもたちに食に対する楽しさや興味を持ってもらい、地元農産物への愛着を育む機会をつくっています。

皆さんに参加していただける食のイベントを企画したり、新しい６次化商品を開発したりすることで、農家と消費者の橋渡し役として、にぎわいづくりを目指すみのりの活動に注目です。

▲味の決め手は地元産りんごを使った焼き肉のたれ。名前負けしないパンチある味わいで、食欲をそそります

▲みのりキッチンでは、白石産のりんごを使ったアップルパイが食べられます。ほどよい甘さが口の中に広がります

▲秋の時期のおすすめは、地元のかぼちゃ（黄色）のジェラートです。幅広い年齢層に大人気です

学校キラリニュース

白石市学力向上プロジェクトの取り組み

大鷹沢小学校　まちのシンボル　白石城を訪ねる

大鷹沢小学校では、８月に全校校外学習を実施しました。市内の施設を巡り、改めてその魅力や良さに触れる活動となりました。

白石城では、深田由一（ふかだよしかず）さんに案内役として白石城の説明をしてもらいながら場内を巡りました。深田さんは大鷹沢地区の主任児童委員を務めています。朝は登校を見守っていただき、児童たちとは周知の仲です。深田さんの話に真剣に耳を傾けながら白石城を見学する中で、上学年は歴史を改めて知り、下学年は自分たちの住むまちのシンボル的存在に触れ、憧れを持つことができた良い機会となりました。

ハイビジョンシアターでは、「団七踊り」のルーツである「白石噺」を視聴しました。宮城野と信夫の幼少期からの親孝行の思い、あだ討ちを支える周りの人の温かい見守りが克明に描かれ、５・６年生は12月に行われる「団七踊り引き継ぎ式」に向けて、気持ちを強く引き締めていました。

▲大手二ノ門をくぐります

▲真剣に説明を聞く児童たち

▲天守閣からの景色は最高！

問学校管理課　☎22-1342

福岡中学校　夢や志を育む！

福岡中学校では、「かかわる」「もとめる」「はたす」の視点で地域と関わりを持ち、体験活動やものづくり活動を通して、自己効力感を育む志教育に取り組んでいます。

この一環として、２学年では地元企業などのご協力のもと「職場体験学習」を行っています。実際の仕事場での体験学習を通して、働くことの意義や礼儀などを学ぶとともに、将来の進路選択に役立てることを目的としています。生徒たちは、緊張しながらも仕事の大変さややりがいを実感し、２日間の体験で一回りも二回りも成長した姿が見られました。ご協力いただいた多くの職場からは「一生懸命に取り組んでいました」と報告をいただき、生徒の自信にもつながっています。

本年度も地域の行事に積極的に参加し、自己効力感を高める機会を通して「夢や志を持つこと」を醸成し、生徒個々の学習意欲の向上につながる取り組みを継続していきます。

▲衣料販売店で洋服の品出しをする生徒

▲自動車販売店で車の空気圧を計る生徒

▲消防署で防火服を身にまとう生徒